

◆ 今週のコメント

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(女性 10歳代, 男性 20歳代)あります。共に、型別はO157(VT 1・VT2)で、推定感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は3例です。
- ・ 水痘の定点当たり報告数は1.32(54例)で、前週 0.90(37例)より増加しています。年齢群別では、2歳が17例(31.5%)と最も多く、次いで1歳が14例(25.9%), 3歳が11例(20.4%)で、0歳～3歳が81.5%を占めています。
- ・ 流行性角結膜炎の定点当たり報告数が1.10(11例)で、前週0.10(1例)から急増しています。行政区別では、山科区(5例), 右京区(5例), 伏見区(1例)で報告があります。

◆ 今週のトピックス:<風しん>

風しんの報告が9例(男性8例(20歳代 2例, 30歳代 1例, 40歳代 4例, 60歳代 1例), 女性1例(10歳代))あります(第12週追加報告分 1例, 第14週追加報告分 1例含む)。詳細をトピックスに掲載していません。

◆ 鳥インフルエンザ(H7N9)について

鳥インフルエンザ(H7N9)が指定感染症に定められ、平成25年5月6日に施行されました。平成25年4月24日現在、日本国内での鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルス感染者は確認されていませんが、今後国内での発生に対する対応を準備する必要があるため、指定感染症として定められたものです。なお、詳細は下記ホームページでもご覧になれます。
○厚生労働省ホームページ「鳥インフルエンザA(H7N9)について」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/h7n9.html

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 6例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 4例
【1月以降の累積報告数 128例(肺結核 71例, その他結核 31例, 潜在性結核感染者 26例)うち喀痰塗抹陽性 38例】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:風しん(検査診断例 7例, 臨床診断例 2例) 9例(第12週追加分 1例, 第14週追加分 1例含む)
【1月以降の累積報告数 32例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	2.56	174
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.05	289
	② 水痘	1.32	54
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	42
	④ 突発性発しん	0.46	19
	⑤ RSウイルス感染症	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	1.10	11

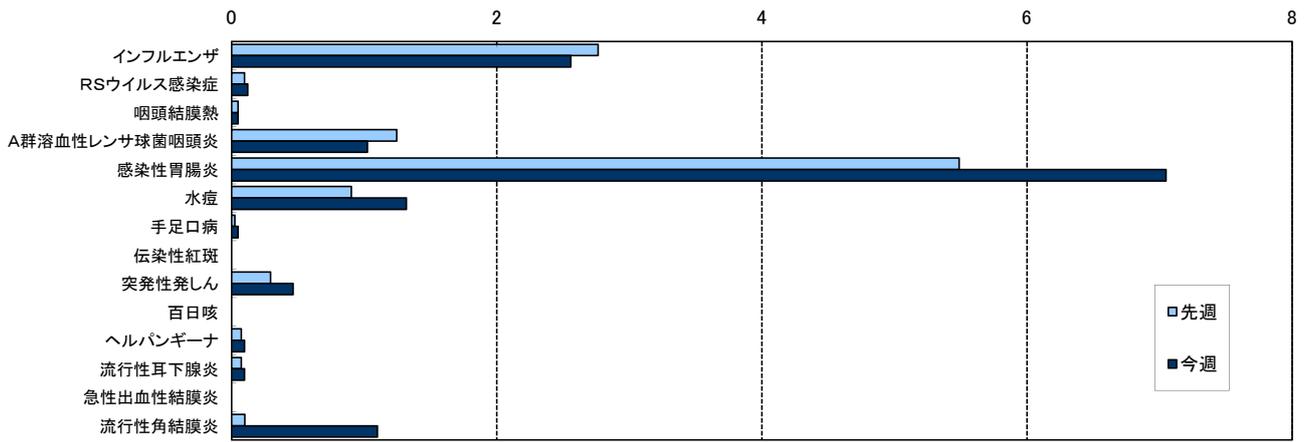
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<風しん>

(注) 京都市のデータは、平成25年5月2日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

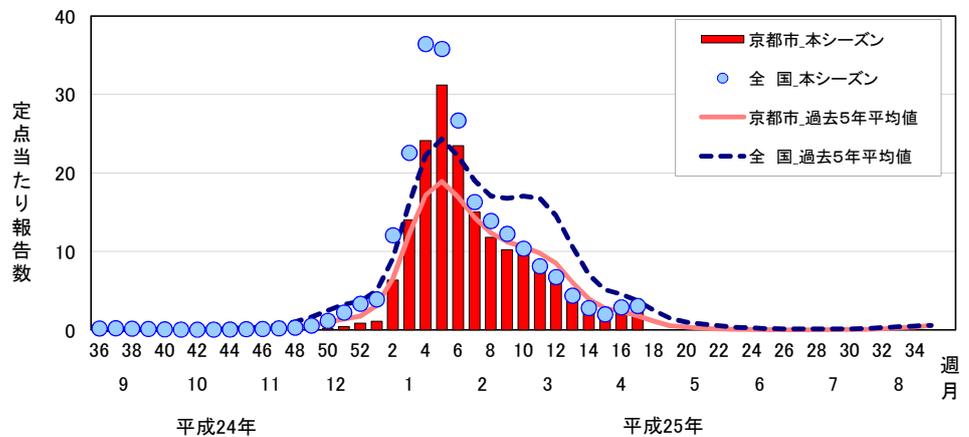
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第17週)と先週(第16週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

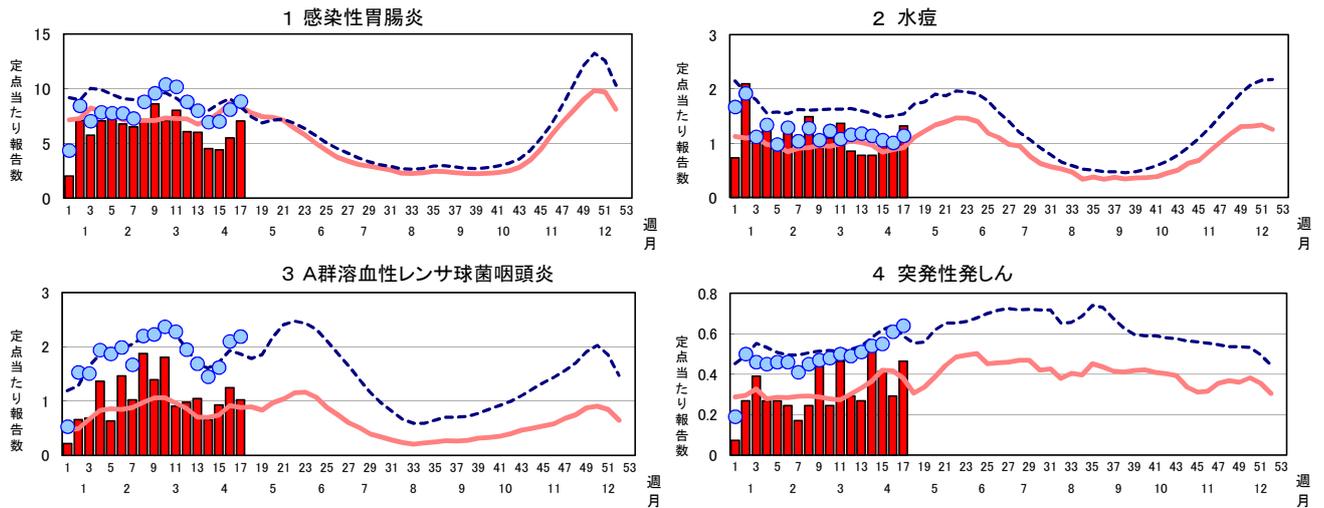
週	報告数(例)
第13週	257
第14週	171
第15週	135
第16週	188
第17週	174
累積報告数 (第36週以降)	11,926



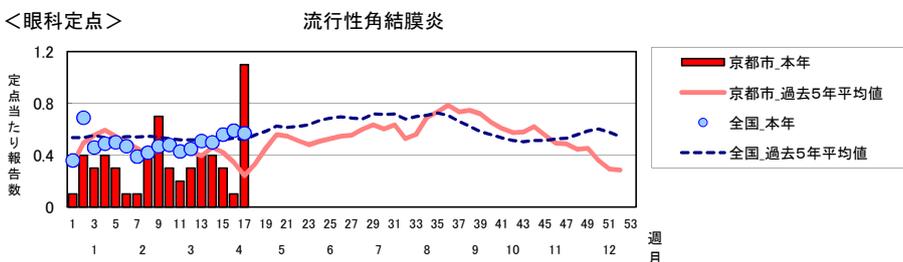
*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第17週(4月22日～4月28日)トピックス: <風しん>

風しんの報告が9例(男性8例(20歳代 2例, 30歳代 1例, 40歳代 4例, 60歳代 1例), 女性1例(10歳代))あります(第12週追加報告分 1例, 第14週追加報告分 1例含む)。第9週(2月25日～3月3日)から9週連続の報告です。本年の累積報告数は32例となっており, 風しんが定点把握疾患から全数把握疾患に変更(平成20年)以降, 最も多かった平成24年の累積報告数(26例)を上回りました。全国の累積報告数も5,503例と平成24年を大きく上回っています。今後の動向にご注意ください。

京都市の性別年齢群別累積報告数は, 男性 24例, 女性 8例で, 男性は20歳代～40歳代の報告数が多くなっています。女性は20歳代が5例と多くなっており, そのワクチン接種歴は, なしが2例, 不明が3例です。

京都市が実施するMRワクチン定期予防接種の協力医療機関については, 下記をご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

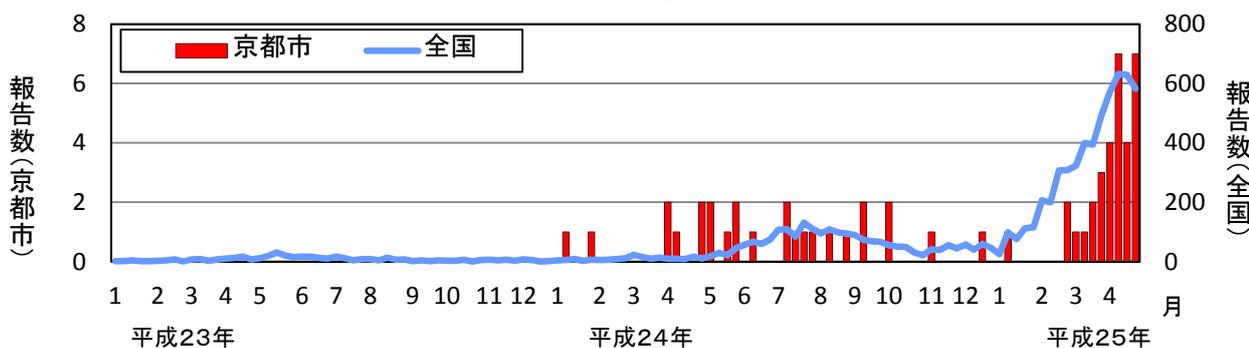
風しんの届出基準及び届出様式は, 下記をご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

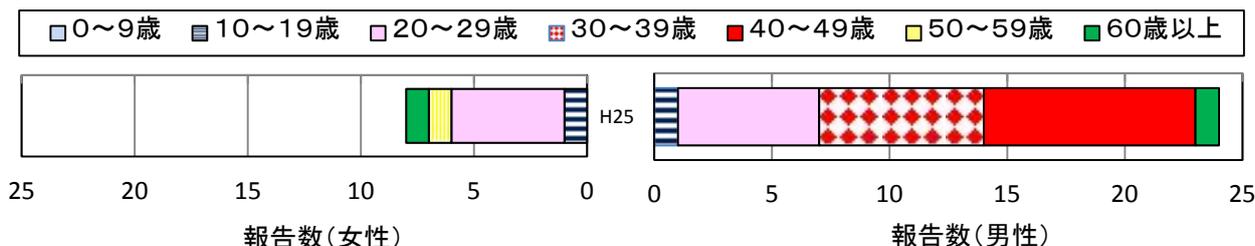
京都市及び全国の報告数の推移(平成25年5月2日現在)

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年 ()内は第17週まで	平成25年 第17週まで
京都市	1	1	0	0	26(5)	32
全国	303	147	87	374	2,391(156)	5,503

京都市及び全国の報告数の推移(平成25年5月2日現在)



平成25年京都市の性別年齢群別累積報告数



全国の性別年齢群別累積報告数の年次推移

